

NGワードその② 「ダメじゃない!」「どうしてできないの!」

「お母さんは、いつもぼくを否定する。ほめてくれない!」と、かつて子供に言われたことがあります。そんなつもりは全くなかったのですが、振り返ってみると、子供が何か言ったときの私の第一声は、「そうだね〜。」ではなく、「ダメだよ!」が多かったのです。

最初に、「だめ」「どうして」「でも」「だったら」などの否定的な言葉が耳に入ってしまうと、子供は、「責められている」「否定されている」と感じてしまい、やがては「どうせできない」というネガティブな感情をもつようになってしまいます。

まず「あなたのことを信じているよ!」という気持ちが伝わるようにしましょう。

たとえば、宿題に取りかかる心配が全くなくても、やることを前提とした声かけをします。「やったら見せて!」「今日は何時から始めるの?」「〇〇ならきっとできるよ!」などと、肯定的な言い方にすると、子供はまんざらでもない気持ちになり、自分からやり始めることが多くなります。